

和歌山縣報

第千二十三號

明治四十三年十一月六日

○縣令

○和歌山縣令第四十六號

看護婦規則左ノ通相定ム

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上親晴

看護婦規則

- 第一條 看護婦タラントスル者ハ年齡十七歲以上ノ女子ニシテ左ノ資格ヲ有シ當廳ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス但シ看護婦ノ指揮ヲ受ケ見習トシテ從事スル者ハ此限ニ在ラス
- 一 府縣ノ看護婦試験ニ合格シタル者
- 二 官公立看護婦學校、全養成所又ハ知事ノ指定シタル私立看護婦學校、全養成所若ハ日本赤十字社並ニ其ノ支部ニ於テ看護學ヲ終了シタル證書ヲ有スル者
- 三 他府縣ノ看護婦免許證ヲ有スル者
- 官公立病院又ハ當廳ノ指定シタル私立病院ニ於テ二年以上看護婦ノ職務ニ從事シタル者ニ對シテハ其ノ履歷ニ依リ特ニ免許ヲ與フルコトアルヘシ
- 第二條 左ニ掲グル者ハ免許ヲ受クルコトヲ得ス

- 一 禁錮又ハ懲役以上ノ刑ニ處セラレタル者
 - 二 瘋癲白痴者、聾者、啞者、又ハ盲者
- 免許ヲ受ケスシテ醫業ヲ爲シタル者、猥褻姦淫及重婚ノ罪ヲ犯シタル者、若ハ傳染性疾患者ニハ
免許ヲ與ヘサルコトアルヘシ
- 第三條 免許ヲ受ケムトスル者ハ本籍、住所、族籍、氏名、年齢ヲ記載シタル申請書ニ第一條ノ資格
ヲ証明スヘキ書類ヲ添ヘ當廳ニ提出スヘシ
 - 第四條 他府縣ノ免許証ヲ有スル看護婦ニシテ一時縣内ニ於テ業務ヲ行フトキハ左記事項ヲ記載
シタル届書ニ免許證寫ヲ添ヘ十日以内ニ當廳ニ提出スヘシ
- 一 本籍、住所、氏名、年齢
 - 二 業務ニ從事スル場所及其豫定日數
- 第五條 看護婦ハ法定傳染病患者ト其他ノ患者トチ同時ニ看護スルコトヲ得ス
 - 第六條 看護婦ハ其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知り得タル人ノ秘密ヲ故ナク漏泄スルコトヲ得
ス
 - 第七條 看護婦ハ就業中清潔ナル白地ノ看護服ヲ着用スヘシ
 - 第八條 左ノ場合ニ於テハ看護婦ハ二十日以内ニ其ノ旨當廳ニ届出ヘシ
- 一 本籍、住所、族籍、氏名ニ變更ヲ生シタルトキ
 - 二 休業三ヶ月以上ニ涉ルトキ
 - 三 免許証ヲ毀損シ亡失シ又ハ亡失後發見シタルトキ
- 前項ノ場合ニ於テ免許証ノ書換又ハ再下付ヲ要スルトキハ亡失ノ場合ヲ除クノ外届出ト同時ニ

免許証ヲ添へ申請スヘシ但シ族籍又ハ氏名ノ異動ニ係ルトキハ戸籍抄本ノ添付ヲ要ス
看護婦廢業シタルトキハ二十日以内ニ免許証ヲ返納スヘシ

第九條 看護婦死亡シタルトキハ戸籍法ニ依ル届出義務者ハ其ノ旨二十日以内ニ届出ヘシ

第十條 看護婦會其ノ他名稱ノ如何ニ拘ハラズ公衆ノ需ニ應ジ看護婦ヲ派遣シテ病者ノ看護ニ従
事セシムルコトヲ業トスル者ハ業務開始ノ日ヨリ二十日以内ニ左記事項ヲ當廳ニ届出ヘシ其之
ヲ變更シタルトキ亦同シ

一 業務所ノ名稱及所在地名番地

二 役員ノ氏名、族籍、年齢、住所

三 會員組織ノモノニ在リテハ其會則

四 所屬看護婦ノ原籍、住所、氏名、年齢、免許番號

第十一條 看護婦第二條第一項各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ免許ヲ取消スヘシ

看護婦第二條第二項ニ該當シ又ハ業務ニ關シテ罰セテ若ハ業行不良ト認メタルトキハ免許ヲ
取消シ又ハ期間ヲ定メテ業務ヲ停止スルコトアルヘシ其ノ事免許前ニ係ル場合亦同シ本條ノ取
消處分ヲ受ケタル後第二條第一項第二號ノ原因止ニ若ハ同條第二項ノ傳染性疾患治愈シ又ハ改
悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與フルコトアルヘシ

第十二條 免許取消ノ處分ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ免許証ヲ當廳ニ返納スヘシ

業務停止ノ處分ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ免許証ヲ當廳ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ
旨ヲ免許証ニ記入領置シ期間滿了ノ後之ヲ還付ス

第十三條 免許ヲ受ケスシテ看護婦ノ業ヲ爲シタル者停止中其業ヲ爲シタル者又ハ第四條第五條

第六條第十條第十二條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處シ第八條第九條ニ違反シタル者ハ三圓以下ノ科料ニ處ス

第十四條 本則ニ依リ當廳ニ提出スル書類ハ所轄町村役場及郡市役所ヲ經由スヘシ

附 則

本令施行前二年以來引續キ看護婦ノ業ヲ營ム者ハ第一條ニ依ラスシテ看護婦タルコトヲ得但シ本令施行後六ヶ月以内ニ業務ニ關スル履歷書ヲ添ヘ免許証ノ交付ヲ受クルニ非ラサレハ其ノ効力ヲ失フ

本令施行前組織シタル看護婦會ニシテ尙引續キ繼續セントスルモノハ本令施行後六ヶ月以内ニ第十條ノ手續ヲナスヘシ

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之レヲ施行ス

○和歌山縣令第四十七號

看護婦試驗規則左ノ通相定ム

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上 親 晴

看護婦試驗規則

第一條 試驗ハ毎年一回以上之ヲ舉行ス其日時及場所ハ一箇月前ニ之ヲ告示ス

第二條 試驗ハ學說及實地トス其科目左ノ如シ

學 說

一 解剖、生理ノ大要

二 看護法

三 治療介輔法

四 傳染病豫防消毒法

實地

一 綱帶

二 救急處置

三 消毒藥溶解並消毒方法

第三條 學說試驗ニ合格シクル者ニ非サレハ實地試驗ヲ受クルコト得ス

第四條 學說試驗ニ合格シ實地試驗ニ落第シタル者又ハ實地試驗ヲ受ケザル者ハ次回以後ニ於テ

實地試驗ノミヲ受クルコトヲ得

第五條 試驗ヲ受ケムトスル者ハ願書(第一號)ニ醫師若ハ看護婦ノ証明アル修業履歷書(第二號)並ニ

醫師ノ作リタル看護婦規則第二條ニ該當スル疾病有無ノ証明書ヲ添ヘ當廳ヘ願出ヘシ

第六條 看護婦規則第二條第一項ニ該當スル者ハ試驗ヲ受クルコト得ス

同規則第二條第二項ニ該當スル者ハ受験ヲ許可セサルコトアルヘシ

第七條 學說及實地試驗ニ合格シタル者ニハ合格證書ヲ交付シ學說試驗ニ合格シタル者ハ証明書

ヲ交付ス

第八條 不正ノ方法ニ因リ試験ヲ受ケムト企テタル者及試験ニ關スル規定ニ違反シタル者ハ其期

ノ試験ヲ受クルコトヲ得ス合格證書ヲ受領シタル後是等ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格證書

ハ無効トス

(第一號様式)

看護婦試験願

本籍 何々

住所 本籍地ニ全シ(又ハ何々)

族稱 氏 名

明治何年何月何處ニ於テ舉行相成候看護婦試験相受度別紙修業履歷書相添ヘ此段相願候也

追テ刑罰ヲ受ケタルコト無之候(又ハ明治何年何月何日何々ノ罪ニ依リ何裁判所ニ於テ何ノ刑

ニ處セラル)

年月日

右

氏 名 印

知事宛

(第二號様式)

修業履歷書

族稱

氏 名

生年月日

明治何年何月ヨリ全何年何月迄何郡(市)何町(村)醫師何某(又ハ看護婦何某)ニ就キ看護ノ學説及實地ヲ修業ス

年月日

右

氏

名

印

右ノ通相違無之証明候也

年月日

何郡(市)何町(村)

醫師(看護婦)

何

某

印

○訓令

○和歌山縣訓令第四十八號

看護婦規則並看護婦試驗規則取締手續左ノ通相定ム

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事

川上親晴

看護婦規則並看護婦試驗規則取締手續

第一條 市町村長ニ於テ看護婦規則並看護婦試驗規則ニ依リ當應ニ差出スヘキ願届テ受ケタルトキハ本籍、住所、族籍、氏名、生年月日並ニ看護婦規則第二條各項ノ事實等ヲ調査シ証印ノ上進達スヘシ

看護婦規則第二條ニ該當スル事實アルトキハ意見ヲ附シ進達スヘシ

第二條 看護婦免許証下付願ニ添付スヘキ合格証書、卒業証書又ハ修業証書ハ本人チシテ本証書並其寫書ヲ差出サシメ市町村長ニ於テ該書對照ノ上相違ナキコトヲ認メタルトキハ其寫書ニ本書點檢濟ノ旨ヲ記載シ且ツ捺印スヘシ

第三條 市町村長ニ於テ免許看護婦ニ對シ看護婦規則第二條ニ該當スル事實ヲ認知シタルトキハ直チニ當廳ヘ報告スヘシ

第四條 郡市役所並町村役場ニ於テハ別紙様式ノ看護婦名簿ヲ調製シ異動ノ都度加除訂正スヘシ
(別紙)

看護婦名簿様式(用紙美濃紙)

種別	種	何
	別	誰
記事	記	年月生
	事	
免狀番號	第 號	
免狀下付年月日	明治 年 月 日	
族籍		

名簿 年月 取消 日ノ	分處政行及罪犯	資格取得年月日 受驗地方廳名	地業開	所住

○告 示

○和歌山縣告示第四百十號

看護婦試驗受験人心得左ノ通相定ム

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事

川上 親 晴

看護婦試驗受験人心得

一 受験人ハ試驗期日及場所ノ告示アリタルトキハ指定ノ日時場所ニ出頭名刺(裏面ニ現住所又ハ旅宿ヲ記スヘシ)ヲ差出スヘシ

二 試験ハ毎日午前九時ヨリ午後三時迄ノ間ニ於テ施行ス但シ臨時終始ノ時間ヲ變更スルトキハ其ノ都度之ヲ告示ス

三 受験人ハ受験當日豫メ當該官吏ヨリ交付ヲ受ケタル受験人番號票ヲ携帯スヘシ

四 受験人ハ當該官吏ノ指揮ニ從ヒ各自ノ番號順ニ着席スヘシ

五 受験人ハ筆、墨、硯ヲ持參スヘシ但シ答稿用紙ハ當日試験場ニ於テ之ヲ交付ス

六 筆、墨、硯ノ外書籍及參考品ヲ携帯シテ試験場ニ入ルヲ許サス

七 試験場ニ於テハ互ニ談話シ及物品ノ授與ヲナスヘカラス

八 試験場ニ於テハ受験人ノ番號ヲ用ヒ其氏名ヲ稱スヘカラス

九 受験人ハ當該官吏ノ許可ナクシテ試験中其席ヲ離ルヘカラス

十 受験人ハ試験ニ關スル當廳ノ揭示其他試験官ノ命令ヲ遵守スヘシ

十一 受験者ニシテ試験當日成規ノ時間ニ出頭セス又ハ試験半途ニ退室シタルトキハ其期ノ試験

ヲ受クルコトヲ得ス。

○和歌山縣告示第四百十一號

土地收用法第九條ニ依リ軌道敷設準備ノ爲左記ノ土地ニ立入り測量ヲ爲スコトヲ和歌山水力電氣株式會社ニ許可セリ

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上 親 親

海草郡紀三井寺村大字紀三井寺、大字三葛、全郡宮前村大字小雜賀、大字中島、大字枕ノ瀬、大字手平、和歌山市ノ内新町部

○和歌山縣告示第四百十二號

土地收用法第九條ニ依リ輕便鐵道敷設準備ノ爲左記ノ土地ニ立入測量ヲ爲スコトヲ加太輕便鐵道株式會社發起人總代垣内太郎ニ許可セリ

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上 親 晴

海草郡野崎村大字北島、大字野崎、大字狐島、全郡松江村、全郡木本村大字小屋、全郡西脇野村大字西ノ庄、大字本脇、大字磯脇、全郡加太町大字加太

○和歌山縣告示第四百十三號

左記ノ者ニ對シ本月四日付ヲ以テ本縣蠶病豫防吏員ヲ免セリ

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上 親 晴

記

右

木村 隆夫	恩地 繁松	山名久之助	中村 安一	西本龜太郎
小林徳之助	濱田 泰藏	柴田 忠雄	堀本 正雄	國部光次郎
下垣内久造	森田千代彦	中前 正一	鹽崎 洋	前田 安一
北田茂左衛門	山本豊壽郎	蓬豪猷次郎	谷 龜義	藪本 留彦
中尾 薫	中岡 正一	小谷 元吉	猿棒庫之助	門田 徳造

○和歌山縣告示第四百十四號

香川縣仲多度郡兼川村大字金藏寺ニ於テ本月十日和種牝牛一頭 臃疽ニ罹リ即日斃死セシ旨通知アリタリ

明治四十三年十一月六日

和歌山縣知事 川上 親晴

○ 辞 令

○明治四十三年十月三十一日

八級俸ヲ給ス

○明治四十三年十一月一日

文官分限令第十一條第一項第二號ニ依リ休職ヲ命ス

德義中學校教諭 野口卓爾

(各 通)

技手	不破喜一郎
土木技手	不破喜一郎
土木技手	宇津木 任平

有給縣吏員設置規程第七條第一項第三號ニ依リ休職ヲ命ス
第三工區出張所主任兼務ヲ命ス

○明治四十三年十一月二日

技手 中筋千代吉

明治四十三年十一月執行縣會議員補選選舉郡賀郡内投票所及選舉會監視ヲ命ス

屬 堀口滿貞

(各 通)

屬 山田 重

明治四十三年十一月執行縣會議員補選選舉郡賀郡内投票所監視ヲ命ス

屬 山野井 俊章

九級俸當分月俸
參拾參圓ヲ給ス

和歌山高等女學校教諭 釣尾清次郎

○明治四十三年十月三十一日

願ニ依リ職務ヲ免ス

日高郡立日高第一實業學校助教諭 寺井昌夫

○明治四十三年十一月四日

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 木村隆夫

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 恩地繁松

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 山名久之助

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 中村安一

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 西本龜太郎

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 小林德之助

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員 濱田泰藏

(各通)

臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	柴田忠雄
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	堀本正雄
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	國部光次郎
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	森田千代彦
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	下垣内久造
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	中前正一
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	鹽崎洋
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	前田安一
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	北田茂左衛門
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	山本豐壽郎
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	蓬臺猷次郎
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	谷龜義
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	數本留彦
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	中尾薰
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	中岡正一
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	小谷元吉
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	猿棒庫之助
臨時和歌山縣蠶病豫防吏員	門田德造

御用濟ニ付職務ヲ免ス

給月俸拾四圓

西牟婁郡書記

大木原佐太郎

○町村吏員ノ異動

○明治四十三年十一月一日認可

西牟婁郡西ノ谷村有給村長

大淵卯之助

○彙報

○轉任 技手與田喜知憲同田邊昌二ハ本月二日愛媛縣技手ニ就レモ轉任セリ

○觀象

自十一月一日至十一月三日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	十一月一日		十一月二日		十一月三日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七六九耗六	七六七耗五	七六七耗九	七六四耗〇	七六六耗〇	七五九耗九
平均氣溫	一三度四	一五度五	一三度七	一七度一	一四度七	一六度七
最高氣溫	一九度三	二一度六	二〇度〇	二一度二	二二度一	二〇度五
最低氣溫	七度九	九度七	九度八	一三度九	七度九	一一度九
最多風向	北西	西	北東	西	南西	北西
平均風力	二米五	二米一	二米三	二米三	四米一	四米六
天氣	晴後曇	半晴	曇後晴	曇又雨	晴	半晴
降水量			〇耗三	九耗四		八耗四
記事現象			曉間微雨	終日時令降雨		曉間降雨

明治四十三年十一月五日印刷

和歌山縣知事官房

和歌山縣知事官房 印刷所 和歌山市北休賀町六番地 宗七